

## ④佐世保市立世知原中学校の活動

### 「自分で作る弁当の日」の取組

平成13年香川県滝宮小学校で、日本で最初に始められた竹下和男校長先生の話聞いたのがきっかけで世知原中学校でも平成21年度から取り組みました。取組はいたって簡単。家庭の協力を得られれば良い。即、実施にいたったのはどこの学校にもある学校保健委員会という組織で提案し賛同を得、職員会で了承してもらっただけ。提案した内容は次の通り。1、実施の目標として①自分が食べるものを自分で作ることで手間がかかることを実感させ食べることを学ぶ。②食べ物が命を育てる。食べ物には命があることを実感させ食べ物を粗末にしない態度を育てる。③弁当作りを通して自分が家族の一員として役に立つ喜びを実感させる。④台所に親子、家族で立つことでコミュニケーションの機会をふやす。

#### 2、実施要領 「弁当の日」の原則として

- ①生徒だけで作る ②年4回 ③全校生、全職員で取り組む

問題点は実施期日。給食が予定されていないスケッチ大会や始業式など行事時に実施すると好都合。あと給食がある日も2日間だけ実施しました。それには家庭の協力が必要。反対意見もないわけではないが実施することでの先進校のメリットを伝えることで納得していただきました。それは「弁当作りを経験することで自らたくましく豊かな人生を切り開いていくことが可能になる」という大きな力。その可能性を信じて「弁当の日」を実践しています。「弁当の日」を通して子どもが、学校が、家庭が変わってきました。何より子ども達が早起きして苦勞して自分の弁当を仕上げることで一人で作ったという「達成感」を味わいその積み重ねが生きる自信をつけていく。それを支える親の目が変わる。教師も「手作り弁当」という作品を通して家庭のドラマがみえてくる。会話が増えてくることはごく当然。今、この当たり前のことができないから子どもの問題が深刻になっています。「弁当作り」が子どもたちを幸せな人生に導いてくれると確信しています。

